

「富美山地区大規模雨水処理施設整備事業計画変更意見募集」に関する意見募集結果

	意見の概要	本市の考え方
1	<p>事業費変更でも工事は行うべきであると思います。 ただし、当初の計画時の費用が安かった理由をはっきりとさせ、その金額を算出した者や、その上司は責任をとって処分させる必要があります。 「当事者が処分されない」はあり得ない事です。 しかし、工事に取りかかった後に、想定外の出来事があった場合、その旨を説明して了承されれば、それでいいと思います。</p>	<p>本事業は、当初の計画から見込んでいる令和8年度の完成に向け現在進めております。 工事着手前に案を公表し「延岡市政策等の形成過程における市民等参加条例」に基づきパブリックコメントを行った上で着手しましたが、詳細設計を行い、地盤の状況等を新しく把握した上で、事業費を積算したところ、当初公表した事業費よりも大きく増えたため「延岡市政策等の形成過程における市民等参加条例」（パブリックコメント条例）に基づき、再度、意見募集を行ったところであります。 当初の段階では、ボーリングによる地質調査等も行っていなかったため、地盤等の状態がわかっていなかったことや、より低い水位のうちにポンプを作動させ、早いタイミングからも排水するための対策を加えたことから、事業費が増加することとなりましたが、これはいずれも必要な対応だと考えていますので、ご理解の程お願いいたします。</p>
2	<p>流量が増加して浸水被害が起きないように対策してほしいと思いました。 何かあってからでは遅いのできちんと整備してほしいです。金額もかなり大きいと思いますが、住民を安心させてほしいです。</p>	<p>富美山地区においては、平成9年の台風19号（床上浸水98戸、床下浸水66戸）、平成17年の台風14号（床上浸水76戸、床下浸水43戸）、平成28年の台風16号（床上浸水5戸、床下浸水10戸）、令和元年の集中豪雨（床上浸水5戸、床下浸水11戸）、令和4年の台風14号（床上浸水129戸、床下浸水104戸）などにより、頻繁に浸水による家屋被害に見舞われる浸水常襲地区となっております。 このように、浸水常襲地区である本地区において、雨水ポンプ場を整備することは、浸水被害の防止のみならず、地域住民の皆様の不安を解消し、安心・安全な暮らしにつながることにあります。</p>
3	<p>総事業費が増加になるため、令和8年度の整備完了予定が遅延する事のないよう各年度の事業費を確保していただき整備を進めてもらいたいと考えています。</p>	<p>過去最大の被害を受けた令和4年の台風14号に対する、雨水ポンプ場の効果について検証を行った結果、同規模の降雨に対応出来得る設計としていることから、十分な能力を有しているものと考えております。</p>
4	<p>この事業が住宅地の浸水被害を予防する意味では賛同できます。 事業費が膨らんだ事は専門知識の全くない者としては令和4年9月の台風14号による浸水によるものと理解します。 ただ、この後の想定外の降雨の理由で新しいポンプでも排出できないような事態には無きように願いたい。</p>	<p>過去最大の被害を受けた令和4年の台風14号に対する、雨水ポンプ場の効果について検証を行った結果、同規模の降雨に対応出来得る設計としていることから、十分な能力を有しているものと考えております。</p>
5	<p>無作為の50名抽出とのことですが、このような事業は添付していただいた資料を見ても解りません。 延岡市への将来性のある方（年齢的にも）であるべきと考えます。</p>	<p>本市では、市民が主役のまちづくりを実現するため、様々な年代、地域の方々より意見をいただくことで、市民等の参加による開かれた市政運営を行っております。 そのため、添付する資料等につきましては、今後ともできる限りわかりやすく作成するよう努めてまいります。</p>